ROTARY CLUB OF KANAZAWA-NORTH
1998年2月19日 第601号

金澤北ロータリークラブ

写真：関 稔（会員）

金沢 北郊 散策

全性寺

東山二丁目

赤門寺で親しまれている東山二丁目の全性寺の仁王像にはワラジが数多く吊され、健脚を祈願する民間信仰があった。足の不自由な人々をはじめ、かっては浅野川に働く人足の祈願者が絶えなかったと言う。能楽師、諸橋権之進・波吉宮門謡曲師、宝生紫雪の墓がある。

明日吹く風、どんな風？

同時通訳者　早川芳子氏

通訳とは機械のように受けとめられる様ですが、理解力がないと出来ません。何事もその事を知らないと原稿があってもうまくゆくとは限りません。

訓練方法があります。シャドーミングという方法で、テレビのニュース等を一瞬遅れで追いかける法ですが、NHKはともあれ民放ではなかなか私はついてゆけません。その他色々な方法で練習をしています。

私共が一番戸惑うのはジョークと諺です。ある学会でジョークが出たのですがそのまま訳しても全く意味が解らない為、通訳の方は、今とても面白いジョークを言われましたが訳しても解らないと思うので思いっきり笑って下さい。と言ったら会場は大笑いで教授は『うれしい、用意して来たジョークが当った』と大喜びで講話が出来たとの事で、機転も必要な場合があります。又、諺の好きなのは谷本知事で「袖ふれあうも多生の縁」とか「雨降って地固まる」とか、色々こんな所で、と思う所でも使われます。「焼石に水」と言われた時は何とか訳しました。ある知人が私に知事さんて良く諺をおっしゃるでしょ！と言うのです。ある知事を囲む会で早川さんを困らせようかなと毎回新しい諺を用意しておくのだそうですって…。

逆に色々な事も気付きました。日本人は何かとスミマセン、を一日中繰り返しているとか、考える時は眼が上にいくとか、寒い時や緊張した時スーッ…と息をするとか、外国の方々には不思議に見える様です。又、外国の人々は必ずひと言褒めてから会話が初まるのです。ネクタイいいねとか、美しい花だね、から会話が初まるのですが、日本人も是非何かをほめてやってみましょう！！

ノルウェーから鮭を世界中に売り込みに来られた団長は女性でした。その方が「私の仕事は鮭を世界中に売り込みに行くことです。一言で申し上げにくいので、あるエピソードを紹介します。フランスにカララという世界一美しい大理石を産出する小さな村があります。そこには世界中から彫刻家が来て所々で彫刻をしています。ノルウェーからも行ってます。そのノルウェーの彫刻家が彫っている所に村の少年が毎日見に来ていました。三ヶ月経ち、とうとう彫刻が出来る日彫刻家は最後のノミを入れ、美しい女性像が出来上りました。毎日来ていた少年は初めて話かけました、オジサン！！何処にそんな美しい女性をかくしていたの…」私の仕事はそんな仕事です。

私の仕事もそんな仕事かなあ…と思ってます。　　（文責　銭亀　賢治）

もう一人の私

沢田哲夫

「あの老人が。エレクトーンをやるのか」「何だって？あのオイボレが…。まさか」こんな会話が、わたくしの耳に聞えてくるような気がする。私が今年、八月三日に満九十歳に達することは事実であり、私がエレクトーンの演奏（上手か下手かは別問題であるが）をやり、家人にうるさがられていることも、また、事実である。十年程前から耳が遠くなり、エレクトーンのみならず、テレビでも音響を大きくしないと聞えなくなったので、通常人にはうるさがられる程度の強大な音量にしているから、周囲の人々から、苦情が出るのは当然である。

どうしてこんなことになってしまったのか。それを聞かれると、それは、「しかじか斯様でござる」と、話を八十数年前にもどさなければならないが、こんな言い訳を聞いて下さる御方があるだろうか。この原稿は字数を六百から八百以内に制限されているが、私の場合、この言い訳こそ、字数の埋め合わせに、丁度よいのだ。制限ではなく、天の助けである。

私の生家にはオルガンがあった。長姉が私にオルガンの演奏を教えた。算え年の四歳ぐらいの時である。面白半分に教えたに過ぎないが、それでも小学校一年生の頃、学校でおそわった唱歌はその場ですぐに演奏できるようになっていた。音程の上下をのみこんでいたからである。

戦時中ジャワに行った。官舎にピアノがあった。明けても暮れても、私は退屈しのぎにピアノを鳴らしていた。演奏なんて言うもんではなく、ただ我流に音を立てていたに過ぎない。長男が社命で独逸に行くとき、孫がやっていたエレクトーンを、私の手許に置いて行った。このエレクトーンこそが今わたくしの家で周囲をうるさがらせているエレクトーンそのものである。ピアノは我家にも一台あるが、いま、誰もひいていない。

第1201回例会

◆2月5日（木）はれ　12：30～13：30　　松魚亭

1．講話
金沢市立図書館近世資料室主幹　屋敷道明氏
「一向一揆と金沢の町づくり」

2．出欠
出席49名　欠席28名　出席率62.02％
ビジター11名

3．来訪者（敬称略）
金　沢ＲＣ　横山隆昭　中村外志郎　片木　進
　　水野卓哉
金沢東ＲＣ　堀　政尋　細田善二郎
金沢西ＲＣ　加藤肇夫
金沢南ＲＣ　橋本勝郎　湯沢邦夫
香林坊ＲＣ　西　三也　井上　泉

4．幹事報告
○米山奨学生アイグリーさん来会

5．皆出席顕彰（敬称略）
19ヵ年　中村三次
14ヵ年　木村丹二　　越田和好
　　安宅雅夫
6ヵ年　森　　大　　炭谷亮一

6．お誕生日祝（敬称略）
10日　中田秀雄　　17日　榎並　誠
24日　松平敦實

7．ご結婚記念日祝（敬称略）
12日　山岸節夫　　22日　田中廣嵩

8．ニコニコボックス
河北南ＲＣ　チャーターナイトのご案内と登録のお願いに参りました。新クラブに今後のご指導とご交誼をお願いします。
石丸君　家内の短歌が「ロータリーの友」1月号に一席選ばれました。
「雨上り　木犀の香にうながされ
　セーター編むと　編機ひろぐる」
馬場あき子選
松平君　この世に生をうけて、早やいくせいそう、生かされています。
合計　12,000円（累計　792,000円）

第1202回例会

◆2月12日（木）はれ　12：30～13：30　　松魚亭

1．講話
金沢市教育長　石原多賀子氏
「21世紀への人づくり」

2．出欠
出席61名　欠席15名　出席率80.26％
ビジター19名

3．来訪者（敬称略）
小　松ＲＣ　山本重雄（理化学販売）
　　津田幸一（外食）
加賀白山ＲＣ　菊知龍雄（シニア・アクチブ）
松　任ＲＣ　吉田　章（シニア・アクチブ）
金　沢ＲＣ　蚊谷八郎　井上好徳　小林　茂
　　小坂栄作　田高良茂
金沢東ＲＣ　熊崎哲男　土川　章　中橋秀夫
金沢西ＲＣ　辻　　卓　岡　茂光　田村憲司
金沢南ＲＣ　高桑　明　松下　明
香林坊ＲＣ　都築一隆　智口成市

4．幹事報告
○例会終了後、理事会開催

5．ニコニコボックス
小松ＲＣ　山本重雄君、津田幸一君
金沢百万石ＲＣ様と同じ年度に新クラブとして誕生致します。小松シティＲＣは3月14日（土）に創立総会を予定しています。皆様よろしくお願い致します。本日は魚住先生の点鐘を是非共お願い致しくおじゃま致しました。
山上君　雨が降りました。第一号のチョコレートをいただきました。ありがとう。
炭谷君　我家に交換学生のアンディ君を迎えました。陽気でとってもいい奴ですが、少々根性なしです。東京で大学生活を送っている息子に性格がとっても似ていて、楽しくやって行けそうです。
越田君、安宅君　14ヵ年皆出席顕彰ありがとうございました。
森　君　顕彰ありがとうございました。メーキャップが続き、失礼致しました。
松田君　先週はお陰様にて、娘の結婚式をとり行うことが出来ました。よいお天気に恵まれ、ちょっとはしゃぎすぎてしまいました。
合計43,000円（累計835,000円）

理事会報告

平成10年2月12日（木）　出席者　18名

◆金沢７ＲＣ幹事会報告
①金沢新年合同例会決算書　承認
②金沢みなとＲＣ創立5周年祝金　3万円
③河北南ＲＣ承認状伝達式祝金　3万円
④その他
・環境保全フォーラム（金沢ＲＣ主催）
3月18日（水）金沢市文化ホール

◆審議事項
①年忘れ会決算報告　承認
②退会々員　吉村僖代市君、病気の為
③休会々員　関　稔君、病気の為
④現代美術展後援の件　検討中
⑤金沢百万石ＲＣお祝金の件
会員1名あたり10,000円とし、不足分をクラブより拠出して100万円をお祝いとしておくる。

◆各委員会報告
○クラブ奉仕　４月２日（木）クラブフォーラム
○会員選考　サントリー（株）金沢支店長
　　丸善（株）金沢支店長
○職業奉仕　職場親善球技大会
3月15日（日）

「1998-'99年度友情交換」が下記のようにきまりました

訪問先：第5010地区　合衆国アラスカ州

日　時：Ａコース　1998年7月8日(水)～7月13日(月)
　　Ｂコース　1998年7月8日(水)～7月15日(水)

例会日：木曜日　12：30～13：30
例会場：金沢市東山1-38-30・松魚亭
TEL〈076〉252-2271　FAX252-2273
事務局：金沢市尾山町9－13・金沢商工会議所
TEL〈076〉222-2525　FAX224-2882
会長：山上啓介　幹事：松本範夫
広報委員長：米澤修一　　会員79名